

2020年度

金沢大学大学院教職実践研究科（専門職学位課程）

入学者選抜試験問題

〔小論文試験〕

科目名 学校教育に関する小論文

試験時間 10:00～11:30

受験番号

--	--	--	--	--	--	--	--

（注意事項）

1. 指示があるまで開かないでください。
2. 試験開始とともに配付物の枚数が正しいか確認してください。
3. 各用紙の所定欄に受験番号を記入してください。

配付物 5 枚  
（表紙・下書き用紙を除く）

## 試 験 用 紙

試験科目	学校教育に関する小論文	受験番号							
------	-------------	------	--	--	--	--	--	--	--

## 設問 I

平成 29 年改訂で、学習指導要領の目標及び内容が資質・能力の三つの柱で再整理されたことを踏まえ、各教科における観点別学習状況の評価の観点については、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点に整理されている。想定する校種を一つ選び、一つの教科の一つの単元の一時間の授業で、重点を置く観点別評価を定め、①本時の目標、②本時の評価規準、③本時の展開をデザインしなさい。また、④重点をおいた観点別学習状況の評価を行う際に取りうる様々な方法について述べなさい。

## 【解答欄】

想定する校種（小学校・中学校・高等学校・特別支援学校）・・・一つを○で囲む

教科名 \_\_\_\_\_、 \_\_\_\_\_ 年、単元名 \_\_\_\_\_

① 本時の目標

② 本時の評価規準

③ 本時の展開

指導と学習活動	評価と配慮事項

# 試験用紙

試験科目	学校教育に関する小論文	受験番号							
------	-------------	------	--	--	--	--	--	--	--

指導と学習活動 (続)	評価と配慮事項 (続)

④ 観点別学習状況を評価する様々な方法

# 試験用紙

試験科目	学校教育に関する小論文	受験番号																	
------	-------------	------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

設問Ⅱ

問1

2019年に閣議決定された「未来投資戦略2019」では学校に学習用コンピュータの導入を推進し、最終的に児童・生徒一人ひとりがそれぞれ端末を持ち、十分に活用できる環境を実現することとしている。

実際に一人一台インターネットにつながる端末を児童・生徒が学校で使用することができるとしたならどのような可能性が考えられるのか。

【問1 解答欄】

## 試 験 用 紙

試験科目	学校教育に関する小論文	受験番号									
------	-------------	------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

### 問 2

ICT の活用は IoT を提唱する現代社会では推奨されるものとしているが、インターネットの使用は児童・生徒にプラス・マイナス両面が考えられる。資料 1、資料 2 も参考にして、スマートフォンの使用について校種を想定し（小学校、中学校、高等学校）、マイナス面として考えられる問題点とその対策について書きなさい。

「平成 30 年度青少年のインターネット利用環境実態調査 調査結果（速報）」（内閣府）

凡例 上記資料 1「青少年のインターネットの利用時間（利用機器の合計/平日 1 日あたり）」において、インターネット利用時間の平均は小学生 118.2 分、中学生 163.9 分、高校生 217.2 分であり、5 時間以上（5H 以上）利用している小学生は 6.1%、中学生は 13.3%、高校生は 23.2% である。

「平成 30 年度青少年のインターネット利用環境実態調査 調査結果（速報）」（内閣府）

（注 資料 1, 2 の青少年とは内閣府が調査を行った 10 歳から 17 歳までの 5000 人を指す）